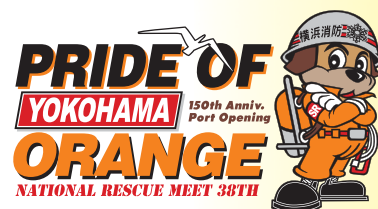


PRIDE OF ORANGE

NATIONAL RESCUE MEET 38TH



第38回 全国消防救助技術大会



主催／財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会



PRIDE OF ORANGE NATIONAL RESCUE MEET 38TH

2009年8月20日(木)

会場 横浜市消防訓練センター

「PRIDE OF ORANGE」をローガンに、第三八回全国消防救助技術大会を去る八月二十日、横浜市消防訓練センターにおいて、多くの来賓と市民を迎えて盛大に挙行した。

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国市民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しているものである。さらに、第三五回大会からは市民の目線に立って大会内容を研究し、全国の市民に、消防の技術の高さ、力強さ、優しさをアピールするとともに、市民の参加できる大会を目指すなど、変革を遂げながら、今大会で三八回の開催を数えるに至った。

第三八回大会の開催地となったのは神奈川県横浜市。古くから我が国の情報発信の窓口として世界と結ばれ、日本の近代化を進める国際港都として発展してきた横浜市は、今年、一九五九年（安政六年）の開港から一五〇周年を迎えた。今春以降、未来への「出向」をテーマに開国博Y150と称した数々の記念事業が開催されており、様々な市民向けイベントを企画した本大会においても、その追い風を受け、全国から多くの市民が来場、開放性に富んだ横浜らしい大会となった。

大会会場は、「横浜市消防訓練センター」。今大会を主催する横浜市安全管理局では、市街地から遠いという悪条件のなかで、いかに市民が参加しやすい環境を整えるかが当初の課題であった。報道機関の協力による事前広報や横浜市教育委員会など他機関との共催によるイベントの開催、ホームページによる動画配信など斬新な企画を取り入れるとともに、シャトルバスと広大な駐車場を確保、運営要員を約七〇〇名動員し、万全の態勢を整えた。

さて、大会当日は、今夏にめずらしく空一面晴れ渡る好天一般の方や消防関係者など約一七、〇〇〇名で埋め尽くされた会場内は、開会式を目前に熱気と興奮に包まれていた。午前八時五〇分、横浜市消防音楽隊の軽快な演奏に合わせ、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九六七名の精鋭たちが堂々と入場し、開催地消防長である上原横浜市安全管理局長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げた。国旗・大会旗掲揚の後には、大会会長である新井(財)全国消防協会会長、金田横浜都市副市長のあいさつ、河野消防庁長官、片山(財)日本消防協会会長、松沢神奈川県知事(代理)・羽田神奈川県副知

事)の祝辞と続き、大会審判長の山家北九州市消防局長による審判長指示がなされた。その後、出場隊員を代表して横浜市安全管理局長の山崎隊員が力強く隊員宣誓を行った。

開会式終了後のオープニングセレモニーでは、ドラマ「RESCUE」特別高度救助隊で徳永隊長役を演じられた俳優の石黒賢氏に特別出場いただき、特別高度救助部隊(SR)による訓練が行われた。

いよいよ訓練の幕開けである。全国から選りすぐられた精鋭たちの眼差しは一段と鋭くなり、出番に臨む。救助のフロとして、また、消防本部の代表としての誇りを背に燃えさかるような熱き魂を抱く隊員の姿は、まさに「PRIDE OF ORANGE」である。磨き抜かれた技を次々と披露する隊員に、観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止まなかった。

訓練の後半は、技術訓練。水上の部では大阪府合同隊(大阪市消防局、枚方寝屋川消防組合消防本部、堺市消防局)と仙台市消防局の二隊、陸上の部では福岡市消防局、金沢市消防局、横浜市安全管理局長の三隊が先駆的な救助技術を披露した。導入から四年目となる技術訓練も「学び」の場として定着しており、訓練施設が限られているとは言え、それぞれの創意と工夫のもと、これまでと違った多彩な訓練想定と救助技術が披露された。会場で技術訓練を見守る隊員の眼差しも、細部にわたるまで吸収しようとする学びの眼となった。

閉会式が始まるまでの間は、横浜市消防音楽隊(ポートエンジンス19)による特別演技が披露された。

閉会式では、各種目の入賞者を大会会長である新井(財)全国消防協会会長が表彰し、「十分な安全管理の下、参加隊員に怪我もなく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げたい。本大会において、陸上の部、水上の部でそれぞれ諸君が日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮されたことは大変意義深いことと思う。本大会を一つの契機とし、今後より一層救助技術の錬磨、向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう希望する。」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が上原横浜市安全管理局長から次期開催地の三浦京都市消防局長に引き継がれ、三浦京都市消防局長が次期開催地としてあいさつした。最後に、上原横浜市安全管理局長が閉会を宣言し、第三八回全国消防救助技術大会は幕を下ろした。

猛暑の中、横浜市安全管理局長の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々に対し、衷心より感謝申し上げます。



挨拶

財団法人全国消防協会

会長 新井雄治

第38回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、公務ご多忙のところ、消防庁長官をはじめ、ご来賓多数のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを厚くお礼申し上げます。

さて、この大会は、全国から選ばれた救助隊員が一堂に会し、救助技術の練磨・研鑽を図り、日頃鍛え抜いた消防救助技術を相互に確認し、災害時において安全かつ確実な救助活動を行なうことを目的として、昭和47年から実施しているものであります。

この間、我が国の消防救助技術は、救助隊員のためめ努力と日々の訓練の積み重ねをはじめ、救助資機材の改良・開発により、着実に発展を遂げてまいりました。

さらに、近年の多様化・大規模化傾向にある災害から、地域住民の安全・安心を守るため、緊急消防援助隊や、特別高度救助隊等の整備・強化が進められており、現在、全国の4,000を超える部隊が緊急消防援助隊として登録されております。

しかしながら、先日の駿河湾を震源とする地震をはじめ、「平成21年7月中旬・九州北部豪雨」や台風などにより、大きな被害が発生するなど、地域住民の安全を脅かす災害は後を絶たず、国民の安全のために果たすべき消防の役割は、ますます大きくなっております。

我々消防機関といたしましては、今後も総力を挙げて各種災害の予防と被害の軽減に努め、貴い人命や貴重な財産を護るため、全力で取り組んでまいることをお誓い申し上げます。

参加隊員の皆さんは、本大会において、安全管理に充分に留意して、これまでの訓練成果を存分に発揮し、所期の目的を達成するとともに、今後も、より一層救助技術の練磨・向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう切望するものであります。

また、本日は、横浜市教育委員会主催の「子供アドベンチャー2009」に参加されている方々をはじめ、全国から大勢のお客様にご来場いただいております。皆様には、全国から集まった精鋭な消防救助隊員の高度な技術と溢れる気力・体力に触れていただき、我々の目指します住民の皆様とともに推進する地域総合防災力の向上にご理解とご協力をいただければ幸いです。

結びに、本日ご列席の皆様のみならず、ご健勝を祈念申し上げます。挨拶いたします。



祝辞
神奈川県知事(代理)
羽田 慎司



祝辞
(財)日本消防協会会長
片山 虎之助



祝辞
消防庁長官
河野 栄



あいさつ
横浜市副市長
金田 孝之



次期開催地あいさつ
京都市消防局長
三浦 孝一



審判長指示
北九州市消防局長
山家 桂一



開会宣言・閉会宣言
横浜市安全管理局長
上原 美都男

陸上の部

ロープブリッジ渡過(基礎訓練)



水平に展開された渡過ロープ二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。
【標準所要時間一八秒】

表彰者

- 【北海道】**
森町消防本部 橋本 誠
室蘭市消防本部 宮武 勝久
恵庭市消防本部 東本 泰潔
富良野広域連合消防本部 浅野 優也
- 【東北】**
石巻地区広域行政事務組合消防本部 亀山 知規
双葉地方広域市町村圏組合消防本部 石川 俊勝
青森地域広域消防事務組合消防本部 濱田 泰志
南魚沼市消防本部 隅谷 直人
能代山本広域市町村圏組合消防本部 幸坂 和人
酒田地区広域行政組合消防本部 菊地 安人
釜石大槌地区行政事務組合消防本部 月山 智
- 【関東】**
佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 海保 誠一

横滨市安全管理局 伊藤 和剛
袋井市森町広域行政組合袋井消防本部 加藤 辰則

石岡市消防本部 加藤 裕也
鹿沼市消防本部 福田 哲也
児玉郡市広域消防本部 下境 亮寛
館林地区消防組合消防本部 柴田 行耶

甲府地区広域行政事務組合消防本部 田名網祥平
千曲坂城消防本部 内藤 利幸
横須賀市消防局 有賀 俊介

【東海】
紀勢地区広域消防組合消防本部 三浦 弘貴
幸田町消防本部 松田 敏明
可茂消防事務組合消防本部 桑原 秀平

【東近畿】
西和消防組合消防本部 今西 亨
湖北地域消防本部 田中 英樹
射水市消防本部 松永 崇
宇治市消防本部 浅井 暖之
田辺市消防本部 竹中 伸吾
南越消防組合消防本部 川上 明洋

【近畿】
たつの市消防本部 浦元 陽平
大阪市消防局 小松 健太

【中国】
岡山市消防局 奥本 達彦
松江市消防本部 篠原 栄士
鳥取中部ふるさと広域連合消防局 福井 武瑠

防府市消防本部 福井 武瑠
広島市消防局 森本 直光
高松市消防局 池添 裕
高知市消防局 田代 吉克
美馬市消防本部 藤川 侑己

【九州】
大分市消防局 横尾 智士
那覇市消防本部 前田 昌志
八女消防本部 中村飛雄馬
日向市消防本部 海野 道明
さつま町消防本部 村田 健一
松浦地区消防組合消防本部 福永 勝仁
山鹿植木広域行政事務組合消防本部 高見慎一郎

はしご登はん(基礎訓練)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。
【標準所要時間一四秒】

表彰者

- 【北海道】**
網走地区消防組合消防本部 松谷 然
南宗谷消防組合消防本部 青木 健
札幌市消防局 本間 翔太
西胆振消防組合消防本部 井嶋 毅
南渡島消防事務組合消防本部 阪内 冬樹
- 【東北】**
喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 渡部 和之
大館市消防本部 渡部 祐輝
久慈広域連合消防本部 大上 博文
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 玉川 博輝
西置賜行政組合消防本部 三須 隼人
長岡市消防本部 梅澤 洋
大崎地域広域行政事務組合消防本部 加藤 淳也
- 【関東】**
横滨市安全管理局 堀江 正義
長生郡市広域市町村圏組合消防本部 小高 晃
松本広域消防局 松本 浩太
三浦市消防本部 鈴木 将太
東京消防庁 安彦 大翼

富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 天野 祐也

白岡町消防本部 齋藤 文和
つくば市消防本部 石川 法久
小山市消防本部 佐藤 法久
高崎市等広域消防局 瀬間 宏一
東伊豆町消防本部 有賀 洸一

【東海】
損斐郡消防組合消防本部 高木 宏樹
衣浦東部広域連合消防局 金子 徹郎
伊賀市消防本部 南出 良平

【東近畿】
宇治市消防本部 石田 浩幸
富山市消防局 浅名 紀之
和歌山市消防局 堂浦 太郎
高島市消防本部 横井 良行
小松市消防本部 笠間 道友
嶺北消防組合消防本部 佐藤 暢恭
香芝・広陵消防組合消防本部 光山 浩史

【近畿】
佐用町消防本部 中井 一等
八尾市消防本部 高田 一之

【中国】
東備消防組合消防本部 藤本 佑介
防府市消防本部 永田 賢司
備北地区消防組合消防本部 塚原 庸介
松江市消防本部 吉田 豊
鳥取県西部広域行政管理組合消防局 松本 知幸

【四国】
東温市消防本部 八木裕次郎
美馬市消防本部 長谷 昌典
土佐清水市消防本部 鍋島 典和
善通寺市消防本部 西山 正人

【九州】
沖縄市消防本部 比嘉 竜一
豊後大野市消防本部 戸上 力栄
日向市消防本部 曾根崎友章
松浦地区消防組合消防本部 金子 秀人

山鹿植木広域行政事務組合消防本部 下原 俊輔
大隅肝属地区消防組合消防本部 折小野 大輔
粕屋北部消防本部 徳永 太陽

ロープ応用登はん(連携訓練)



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一五メートル登はんする。
【標準所要時間一六秒】

表彰者

【北海道】
岩見沢地区消防事務組合消防本部

成田 隆一
吉田 光希
小松 真二
湯瀬 賢一

北留萌消防組合消防本部
太田 都寿

南渡島消防事務組合消防本部
熊谷 将俊

北十勝消防事務組合消防本部
伊田 開
荒町 将之

【東北】
一関市消防本部
千葉 弘樹
阿部 真一
境田 孝伸

須賀川地方広域消防本部
吉田 圭勝

大館市消防本部
神田 永吉

中部上北広域事業組合消防本部
吹合 永吉

南陽市消防本部
坪 憲文
石黒 久侑
横山 光

長岡市消防本部
大崎 将也
佐藤 元樹

名取市消防本部

【関東】
横浜市安全管理局

日立市消防本部
関 恭兵

峡北広域行政事務組合消防本部
澤島 栄司

上田地域広域連合消防本部
宮川 勇一

三浦市消防本部
高塚 淳一

我孫子市消防本部
藤崎 敦

川越地区消防局
矢島 純

桐生市消防本部
影山 由直

塩谷広域行政組合消防本部
坂元 大輔

藤枝市消防本部
大森 康孝

東京消防庁
松井 拓也

【東海】
大垣消防組合消防本部
加藤 勇樹

豊川市消防本部
狩野 昌宏

伊都消防組合消防本部
高橋 新一

福井市消防局
高橋 新一

宇治市消防本部
高橋 新一

愛知郡広域行政組合消防本部
高橋 新一

富山市消防局
高橋 新一

中吉野広域消防組合消防本部
高橋 新一

鎌田 秀徳
佐藤 航

岩永 寛

及川 恭兵

関 光夫

澤島 栄司

川端 明

田中 淳一

高塚 敦

藤崎 純

矢島 由直

影山 大輔

坂元 康孝

大森 拓也

松井 拓也

二神 惇哉

堀井 克明

藁科 新一

高橋 新一

高橋 新一

高橋 新一

高橋 新一

高橋 新一

高橋 新一

高橋 新一

高橋 新一

高橋 新一

津幡町消防本部

【近畿】
神戸市消防局

大阪市消防局

【中国】
大竹市消防本部

鳥取県東部広域行政管理組合消防局

萩市消防本部

高梁市消防本部

浜田市消防本部

【四国】
三観広域行政組合消防本部

香南市消防本部

西条市消防本部

徳島市消防局

【九州】
長崎市消防局

うるま市消防本部

豊後大野市消防本部

北九州市消防局

八代広域行政事務組合消防本部

宮崎市消防局

唐津市消防本部

薩摩川内市消防局

折田 浩一

米倉 孝明

川野 浩平

木村 憲洋

舟木 敬一

島中 啓介

新川 啓介

山本 千昭

田中 幹人

近江 真巳

田中 真巳

原 慎太郎

奥田 栄進

藤田 憲司

大家 英生

蔵増 真司

加藤 聖士

赤井 隆志

内藤 浩二

中田 浩二

合田 寛陵

片桐 寛紀

竹崎 裕次

西内 邦克

武田 邦克

南部 卓英

谷木 卓英

新田 卓英

古村 公一

村上 修一

山城 光一

ほふく救出(連携訓練)



三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
【標準所要時間一分一〇秒】

表彰者

【北海道】
渡島西部広域事務組合消防本部

北広島市消防本部

留萌消防組合消防本部

紋別地区消防組合消防本部

山館 達也

大野 泰輔

山崎 良範

南谷 陽一

伊勢田 浩平

高濱 翔太

齊藤 真生

横田 寿久

今井 睦

横田 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

今井 睦

【東北】
酒田地区広域行政組合消防本部
阿部 広幸
阿部 大輔
那須 正人

十和田地域広域事務組合消防本部
音道 孝行
米田 美崇
高田 光一朗

巨理地区行政事務組合消防本部
石向 祐輔
齋藤 公一
渡邊 宏幸

秋田市消防本部
藤原 望
高橋 修介
金 尚樹

須賀川地方広域消防本部
迎 純一
吉村 訓
木下 純一

盛岡地区広域行政事務組合消防本部
野村 貴裕
羽鳥 文峰
遠藤 仁志

【関東】
横浜市安全管理局
長谷川 洵
相澤 秀明
相澤 旭斗

市原市消防局
安部 隆志
高山 茂樹
林 浩太

川口市消防本部
山本 直樹
立川 啓介
福山 啓一

東京消防庁
丹野 啓一
阿津地 祐典
剣持 聡

高崎市等広域消防局
金井 寛
真下 暁
今井 修二

都留市消防本部
熊谷 幸剛
竹原 勇大
中村 貴大

厚木市消防本部
甲州 謙吾
島崎 亮太

那珂市消防本部
加藤 直人
蓮田 恵太
久保田 竜也

千曲坂城消防本部
岡村 卓悟
新村 卓哉
本島 肇

足利市消防本部
岡村 卓悟
新村 卓哉
本島 肇

熱海市消防本部
上田 知憲
金屋 陽一
家住 陽一

【東海】
松阪地区広域消防組合消防本部
平尾 紘太郎
川口 将平
中村 朝美

恵那市消防本部
伊藤 朝美
岩下 永司
可知 昌浩

常滑市消防本部
竹内 友茂
夏目 和樹
竹内 唯基

【東近畿】
宇治市消防本部
梅木 大輔
立間 淳弘
大西 惇詞

吉野広域行政組合消防本部
福山 和宏
今井 忠広
井上 栄次

高岡市消防本部
橋本 泰暢
佐々木 康成
藤永 卓紀

湖南広域消防局
櫻井 卓也
戸村 祐翔
平井 祐次

嶺北消防組合消防本部
橋本 義人
玉村 太郎
山田 将太郎

小松市消防本部
山田 将太郎
今出 大誠
笠岡 道友

和歌山市消防局
堅田 健司
山下 拓郎
雲岡 浩輔

那珂市消防本部
加藤 直人
蓮田 恵太
久保田 竜也

千曲坂城消防本部
岡村 卓悟
新村 卓哉
本島 肇

足利市消防本部
岡村 卓悟
新村 卓哉
本島 肇

熱海市消防本部
上田 知憲
金屋 陽一
家住 陽一

【東海】
松阪地区広域消防組合消防本部
平尾 紘太郎
川口 将平
中村 朝美

恵那市消防本部
伊藤 朝美
岩下 永司
可知 昌浩

常滑市消防本部
竹内 友茂
夏目 和樹
竹内 唯基

【東近畿】
宇治市消防本部
梅木 大輔
立間 淳弘
大西 惇詞

吉野広域行政組合消防本部
福山 和宏
今井 忠広
井上 栄次

高岡市消防本部
橋本 泰暢
佐々木 康成
藤永 卓紀

湖南広域消防局
櫻井 卓也
戸村 祐翔
平井 祐次

嶺北消防組合消防本部
橋本 義人
玉村 太郎
山田 将太郎

【近畿】
泉南市消防本部
井上 博史
月木 良和
角田 雅文

加古川市消防本部
安藤 耕人
藤本 敏和
岸本 敏和

【中国】
出雲市消防本部
周藤 健生
柳楽 篤
伊藤 篤

鳥取県西部広域行政管理組合消防局
足立 健
大谷 誠英
齊木 健司

長門市消防本部
大谷 誠英
松尾 健司
三井 祐一

倉敷市消防局
末永 祐一
三井 祐一
出井 悠太

【四国】
福山地区消防組合消防局
堀 良行
石藤 勲
中込 清明

松山市消防局
山田 圭一
小池 晋一
大内 崇将

丸亀市消防本部
小池 晋一
大内 崇将
塚本 隆志

中芸広域連合消防本部
神高 倫宏
西山 長人
篠岡 長人

板野東部消防組合消防本部
篠岡 長人
長人 長人
長人 長人

【九州】
日置市消防本部
中渡 裕樹
重水 啓徳
濱田 仁

八代広域行政事務組合消防本部
嶋田 智之
上村 浩允
田河 浩太

比謝川行政事務組合三ライ消防本部
玉城 充
上地 久幸
上地 悠貴

平戸市消防本部
吉川 大喜
松永 倉次郎
平野 正博

杵築速見消防組合消防本部
安部 武志
阿部 康
深澤 康

飯塚地区消防本部
和多 良
阿部 康
藤春 翔

唐津市消防本部
藤本 貴則
前田 修司
杉山 修司

西諸広域行政事務組合消防本部
芳賀 由次
藤本 裕和
後藤 政樹

黒木 雄大
若松 洋平



ロープブリッジ救出(連携訓練)

四人一組(要救助者を含む)で、二人が水平に展開された渡過ロープ(二〇メートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

【標準所要時間一分一五秒】

表彰者

【東北】
塩釜地区消防事務組合消防本部

魚沼市消防本部

南魚沼市消防本部

【関東】
浦安市消防本部

春日部市消防本部

東京消防庁

常陸太田市消防本部

春日部市消防本部

藤沢市消防本部

相模原市消防局

本野 康裕
黒澤 正彦
畑中 克文
武田 敏幸
榎本 充位
星 秀幸
高橋 博人
櫻井 一敏
町田 敦夫
笛木 卓一
中野 浩亮
高野 浩亮
黒瀨 友雄
柳下 友雄
早川 努
平居 雄一
樋口 雄一
吉田 直人
石塚 圭馬
坂本 真一
小野寺 康裕
外池 雅彦
生井 俊彦
吉田 光博
神田 昌史
菊池 仁康
磯野 拓久
根本 貴磨
鈴木 良明
鈴木 和明
鈴木 紘平
森田 紘平
種子島 充
佐藤 浩一
小山 浩一
橋本 翔吾
林田 大吾
小平 英玄
小田 正憲
武田 淳

三郷市消防本部

菊川市消防本部

横浜市安全管理局

【東海】
松阪地区広域消防組合消防本部

岡崎市消防本部

【東近畿】
吉野広域行政組合消防本部

加賀市消防本部

【近畿】
明石市消防本部

高槻市消防本部

【中国】
三原市消防本部

広島市消防局

山崎 高志
鈴木 良太
大倉 弘司
小池 和志
大林 諭司
吉田 真悟
田代 勝樹
増田 康樹
寺田 浩司
山崎 祐希
西條 祐希
澤井幸太郎
一ノ谷将成
板垣有一郎
前田 大樹
森本 裕介
柴田 一樹
加藤 大樹
加藤 泰之
成瀬 友紀
松本 唯司
榎井 淳司
井上 智則
野村 裕紀
東田 利幸
白川 純祐
森口 大祐
西山 雄也
小山 寛隆
小松 正尚
上松 篤志
宮島 拓也
清水 広伸
山下 大地
岡山 光治
毛利 光治
下久保 健次
山本 芳久
山本 康弘
脇坂 潤
中土 耕次
松本 祐也
奥村 勉
児玉 勉

【四国】
高松市消防局

【九州】
菊池広域連合消防本部

南薩地区消防組合消防本部

天草広域連合消防本部

竹田 匡徳
大林 和英
神内 茂雄
陶山 誠
山村 大
串下 彰一
上野 大輔
松岡 達彦
瀬脇 裕介
有馬 克己
徳永 慎吾
山口 大樹
山川 慎智
田中 琢磨
江崎 真吾
田中 規之



引揚救助(連携訓練)

五人一組(要救助者を含む)で、二人が空呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。

【標準所要時間一分三〇秒】

表彰者

【北海道】
函館市消防本部

【東北】
郡山地方広域消防組合消防本部

【関東】
横浜市安全管理局

千葉市消防局

大和市消防本部

三郷市消防本部

那珂市消防本部

宇都宮市消防本部

西山 遠吾
畑山 寿之
阿部 良太
稲垣 遼祐
村田 遼祐
八幡修太郎
影山 大助
浜尾 友樹
棚木 祐一
佐藤 良
山岡 史学
余湖 圭祐
石田 正和
大石 遥
立石 忠祐
中村 啓仁
椎名 啓太郎
藤平 慎也
竹平 達也
船越 貴維
青木 仁
門倉 寛
上西 創
山本 明
根下 豪人
高上 和介
阿部 健之
田部 翼
加藤 直功
福岡 直功
小高 直人
會澤 久人
石川 悠太
平根 将人
小澤 裕也
加藤 裕也
二戸 暢保
見戸 将樹
大関 健太郎
宗形 聡

【東海】
鈴鹿市消防本部

豊橋市消防本部

【東近畿】
西和消防組合消防本部

宇治市消防本部

【近畿】
大阪市消防局

高槻市消防本部

【中国】
江田島市消防本部

【四国】
安芸市消防本部

大東	清水	長嶋	後久	熊沢	提髪	前田	佐藤	下村	彦坂	烏野	今西	平井	森川	北西	鹿野	前原	佐野	小松	本西	溝口	堀川	松川	奥村	尾松	貴志	北側	星川	山下	山下	竹田	石田	竹本	浜岡	徳永	富山	川谷	下元	宇村
健太	佳久	真吾	輝昭	紀太	知宏	祐吾	将平	正人	克彦	太朗	岳知	竜也	孝彦	邦光	尊徳	大輔	晋吾	和幸	基秋	茂雄	大輔	健太	雅英	哲也	圭司	智治	智治	俊治	秀三	剛	修次	憲一	章史	大行	成			

【九州】
始良郡西部消防組合消防本部

粕屋南部消防本部

川畑	鉛山	青野	峯下	道下	古賀	印藤	大村	城戸	野田	裕二	徳仁	義弘	貴裕	秀弥	勝明	修崇	秀貴	秀樹
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

障害突破(連携訓練)



表彰者

五人一組(補助者を含む)で、四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。
【標準所要時間二分一五秒】

【北海道】
札幌市消防局

井上	圭太	中山	文平	沖山	洋平	中田	野田	野田	亮太
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

【東北】
塩釜地区消防事務組合消防本部

西置賜行政組合消防本部

福島市消防本部

【関東】
入間東部地区消防組合消防本部

大和市消防本部

流山市消防本部

東京消防庁

埼玉県中央広域消防本部

諏訪広域消防本部

石川	佐藤	遠藤	山田	川村	若山	安部	小林	鈴木	二階堂	渡辺	坂田	梅津	佐藤	今村	辻本	林田	佐藤	加藤	塚田	岡田	遠藤	村上	蛭田	植田	遠藤	安部	知久	菅山	丸山	富永	水口	浦尾	浦福	清水	木暮	河野	森田	中山	野野	小野	奥山	塚原	泰征
宏	一	信	康	龍	智	大	和	大	和	和	和	和	和	隆	貴	真	拓	一	享	直	真	修	司	巴	雅	雅	雄	隼	裕	浩	統	隆	憲	佳	将	嘉	登	祐	卓	裕	和	行	次

横浜市安全管理局

【東海】
豊田市消防本部

岡崎市消防本部

【東近畿】
生駒市消防本部

京都市消防局

【近畿】
大阪市消防局

【中国】
広島市消防局

【九州】
南薩地区消防組合消防本部

佐藤	匡史	将真	裕宣	淳一	隼人	蓮尾	有亮	時宗	徹也	尾形	藤井	石原	鳥居	佐藤	池亀	入山	近藤	黒田	新谷	駒井	笹本	北野	中村	丸田	新田	平瀬	西川	武田	安達	佐藤	森野	今野	渡邊	迫山	丸山	二井	山田	夏越	真吾	桑水	上舞	阿久根	堀之内				
真	宣	一	宣	一	一	亮	宗	宗	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也

柏屋南部消防本部

橋爪 哲平
村瀬 広樹
堤 雅浩
草野 祐二
新川 恭平

水上の部

基本泳法(基礎訓練)



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間四〇秒】

表彰者

【東北】

塩釜地区消防事務組合消防本部
横手市消防本部
佐藤 大樹
中川原 誠

にかほ市消防本部

佐々木 佑

水戸市消防本部
東京消防庁
横浜市安全管理局
東京消防庁
所沢市消防本部
相模原市消防局
磐田市消防本部
千葉市消防局
東京消防庁
太田市消防本部

【東海】

豊田市消防本部
瀬戸市消防本部

【東近畿】
京都市消防局
中和広域消防組合消防本部

【近畿】

新宮市消防本部
大阪市消防局
神戸市消防局

【中国】

出雲市消防本部
松江市消防本部

【四国】

四国中央市消防本部
鳥栖三養基地区消防事務組合消防本部

【九州】

長崎市消防局
熊本市消防局

平野 貴大
大松 逸人
松野 裕介
宮野 俊也
杉山 彰
厚海 錬太郎
遠藤 真哉
上澤 勇太
月田 康之

永吉 一也
上村 和之

竹内 完治

東口 憲治
後岡 賢

豊田 和雅
笠松 学

幸田 大輔
山本 康博

竹本 真伍

松永 勇司
江口 誠
酒井 敬治

複合検索(基礎訓練)



マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物(救命浮環)を突破しながら水中に沈められたリング四個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の捜索を想定した訓練。

【標準所要時間四〇秒】

表彰者

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部
大船渡地区消防組合消防本部

【関東】

横須賀市消防局
東京消防庁
川崎市消防局
横浜市安全管理局
田方消防本部
市川市消防局
静岡市消防防災局
東京消防庁

【東海】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部
田中 和友
福田 智裕

中島 裕聖
神野 剛
村上 剛
大東 一
西山 公康
鳥家 吉高
山本 隆親
山口 剛

相模原市消防局
藤沢市消防本部

【東海】
知多市消防本部
知多市消防本部

【東近畿】
京都市消防局
京都市消防局
大津市消防局

【近畿】
神戸市消防局
大阪市消防局

【中国】
出雲市消防本部
松江市消防本部

【四国】
西条市消防本部

【九州】
長崎市消防局
高遊原南消防本部
霧島市消防局

鈴木 統武
横須 清勝
片山 友紀
藤田 友紀

小西 立紘
山中 徹介
長戸 敬介

阿部 徹
長船 勇毅

板垣 慶太
伊藤 眞次

末廣 淳也
福田 裕繁
福岡 雄樹
内村 晃浩

溺者搬送(連携訓練)



二人一組(要救助者を含む)で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者(溺者)を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアークャリーにより救助する。

【標準所要時間四二秒】

表彰者

〔東北〕
大船渡地区消防組合消防本部

上村 聖浩
梅澤 史

〔関東〕
横浜市安全管理局

東京消防庁

川崎市消防局

相模原市消防局

小田原市消防本部

那珂市消防本部

〔東海〕
名古屋消防局

岡崎市消防本部

〔東近畿〕
白山市川広域消防本部

白山市川広域消防本部

〔近畿〕
枚方覆屋川消防組合消防本部

神戸市消防局

〔中国〕
岡山市消防局

〔四国〕
上島町消防本部

〔九州〕
熊本市消防局

長崎市消防局

山口 奈緒美
磯部 亮
鈴木 敦士
渡邊 寛彌
宮本 直也
森 拓也
石田 脩
溝田 優子
関 美純
荒井 淳子
野上 寿幸
永井 孝裕
柴崎 雅彦
池田 夏樹
鈴木 修二
岩崎 允史
小坂 寛之
水田 真一
木下 康
西川 慎吾
西口 幸仁
江波 諒太郎
有田 達洋
井上 奈緒
濱田 佑樹
中田 篤志
穂積 雅晴
池上 幸大
上嶋 菅嗣
田邊 愛
川口 俊二
山田 祐太郎



人命救助(連携訓練)

三人一組(要救助者を含む)で救助者が二重もやい結びのロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスイーストキヤリで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者(訓練人形)を水面に引き揚げ、救助する。
【標準所要時間一分二秒】

表彰者

〔北海道〕
札幌市消防局

〔東北〕
秋田市消防本部

〔関東〕
横浜市安全管理局

東京消防庁

竹谷 朋之
尾間 篤史
加藤 史弥
大塚 良樹
渋谷 嘉直
佐々木 寿
土岐 崇浩
三留 洋平
岩本 真
渡邊 祐樹
秋元 祐樹
細淵 実



弱者救助(連携訓練)

東京消防庁

〔東近畿〕
京都市消防局

〔近畿〕
大阪市消防局

〔中国〕
呉市消防局

〔四国〕
三観広域行政組合消防本部

〔九州〕
鳥栖三養基地区消防事務組合消防本部

落合 慶二
渡邊 功邦
大橋 寛彌
藤田 史明
中川 賢志
西川 暢彦
高森 勇作
豊田 和雅
小山 眞一
濱田 健太郎
須賀 政光
福田 健治
小野 雅人
岩倉 久尚
篠原 義尚
下橋 佑亮
中村 栄仁

表彰者

三人一組(要救助者を含む)で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二〇メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。
【標準所要時間四二秒】

〔北海道〕
札幌市消防局

〔東北〕
大船渡地区消防組合消防本部

横浜市消防本部

〔関東〕
市川市消防局

横浜市安全管理局

東京消防庁

藤沢市消防本部

東京消防庁

〔東海〕
岡崎市消防本部

〔近畿〕
神戸市消防局

長谷川 泰裕
尾間 篤史
加藤 史弥
高橋 正樹
石橋 良光
村上 浩朗
新宮 良憲
中川 原 誠
松下 修
伊藤 隆行
石川 昌弘
平井 達也
村田 利樹
塩貝 篤史
浅井 春樹
長嶺 和郎
大西 正規
伊藤 大地
奥野 木 蔵
三浦 幸生
竹内 豪一
亀崎 雄太
鈴木 修二
坂本 諭信
戸塚 淳哉
木崎 義紘
香西 辰哉
山本 和揮

【中国】
呉市消防局

倉田 真自
益成 尚志
木下 昭光

【九州】
有明広域行政事務組合消防本部

坂梨 寛俊
三澤 一精
高木 史郎

水中結索(連携訓練)



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種類の口ーブ結索を行う。水中における口ーブ結索技術を習得するための訓練。
【標準所要時間一分四八秒】

表彰者

【東北】
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

永井 大介
南 隆
松田 隆

【関東】
横浜市安全管理局

東京消防庁

東京消防庁

藤沢市消防本部

東京消防庁

【東海】
名古屋市消防局

【東近畿】
京都市消防局

【近畿】
神戸市消防局

【中国】
鳥取県東部広域行政管理組合消防局

【四国】
高知市消防局

【九州】
人吉下球磨消防組合消防本部

熊本市消防局

花輪 冬樹 勉

阿部 政行

酒匂 幸生

清水 孝一

山本 章人

坂井 敏樹

菊地 爵寿

佐藤 健太郎

春日 広巳

大西 正規

長谷川 良

大松 逸人

堤 敦司

岸 高史

池田 夏樹

植村 幸司

伊藤 真平

大橋 史明

嶋田 貴樹

嶋川 智則

伊藤 公一

杉山 裕一

小松 康範

上田 広大

上田 大智

井上 康範

山中 貴文

竹内 大史

水中検索救助(連携訓練)



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。
【標準所要時間一分四二秒】

表彰者

【東北】
大船渡地区消防組合消防本部

【関東】
横浜市安全管理局

川崎市消防局

中平 良光

石橋 聖史

梅澤 浩朗

村上 浩朗

石橋 聖史

梅澤 浩朗

岩本 洋平

大西 祐司

梅野 直樹

阿部 直樹

宮本 慶之

富永 直新

村上 浩朗

石橋 聖史

梅澤 浩朗

東京消防庁

【東海】
羽島郡広域連合消防本部

【東近畿】
京都市消防局

【近畿】
大阪市消防局

【中国】
出雲市消防本部

【四国】
今治市消防本部

【九州】
高遊原南消防本部

山本 章人

神野 裕介

榮田 昭彦

山本 一貴

林 靖浩

安藤 雄基

尾関 安雄

北川 茂人

松川 智樹

嶋田 貴樹

小西 立紘

嶋中 徹郎

橋本 聡

東園 和範

前田 孝史

濱岡 史

幸田 大輔

原 直樹

石飛 恭助

板垣 慶太

浅海 大介

錦織 正人

豊田 健志

松田 壮平

土田 潤也

荒牧 竜治

片山 誠也

福岡 雄樹

福岡 雄樹

技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

陸上の部

九州

福岡市消防局
松尾 恵太
角 京之助
金子 寛
平山 春樹
牛尾 陽一

(想定)

男性1名が、高低差約7mの崖下へ転落したもの。活動条件は次のとおり。
①引揚、引き込み用の上部支点なし。
(支点は後部にするものとする)
②進入、救出は崖上とする。
③落石の恐れがあり、壁面直下での引揚は不可
④要救助者は意識レベル1桁、胸腹部打撲、ショック状態



東近畿

金沢市消防局

高野 徳人
喜多 信博
山崎 顕男
藤川 拓郎
小川 雄史

(想定)

低所救助現場における、改良型はしごクレーン救助の展開。活動条件は次のとおり。
①活動拠点はB塔とし、約7m下の低所に要救助者1名あり。
②進入、救助スベースはロープブリッジ救出の足場上からのみとする。
③救助スベース上方には、支持点を作成できるものは存在しない。
④B塔、C塔間の安全ネットは活動障害とする。
⑤事前の情報から要救助者が倒れている場所は、呼吸保護用器具等の着装が不要な環境とする。
⑥要救助者は、脳血管障害を発症したものとす。



(開催地)

横浜市安全管理局

菊池 順一
石田 茂徳
鈴木 俊輔
上田 俊輔
小川 直哉

(想定)

想定は、「建築中の3階建て建物の、3階部分において作業中の男性が突然倒れた現場」である。
建物には、建築途中であるため進入のための階段が無く、要救助者を地上へ降ろすことが出来ない状況で、地上の進入できる場所は幅が2mの狭い路地で地盤が軟弱な状態。
出場路上に司令センターから、要救助者の男性は心肺停止状態との情報が送られている。

水上の部

近畿

大阪市消防局

鈴木 光一
渡場 正司
鷺野 将美
原田 祥吾
中岡 良太
吉岡 克典
深田 克典
田中 克明
石橋 和隆

(想定)

大阪市内の河川において、女性1名が橋から誤って転落したもので、通りがかりの男性会社員が女性を救出するため自ら飛び込んだが救出できず、水面で助けを求めている。転落した女性は、岸から10m付近に沈んだ事案を想定して実施する。活動条件は次のとおり。
①岸壁から水面までの落差1m
②水深2m
③水底ヘド口50cm堆積
④透明度0(無視界)
⑤川の流れなし



東北

仙台市消防局

佐藤 祐治
梅村 大輔
小椋 昌樹
黒田 慶容
坂本 聡
庄司 剛
山田 勝
伊藤 歩

(想定)

想定は「記録的大雨により内水氾濫している環境下で、ビルの地下室が浸水し男性2名が逃げ遅れ、地下空間に取り残されている現場」である。
閉鎖された特殊な環境下で予想される無窓階及び電気設備の使用不能による暗い空間での活動、浮遊物等の障害物による狭い空間での活動で、いかに安全、迅速、確実に行動できるかをテーマに訓練を実施する。



第38回 全国消防救助技術大会 市民インタビュ

永田さん・田中さんご家族

●今日は、公園友達から大会があることを知り、子供が消防車を大好きで、またTV番組のレスキューファイヤーのファンなので、握手会を目的に来ました。

●隊員の方々の体力・技術・スピードに驚きました。普段から余程厳しい訓練を行っていることだろうと感じました。近所に消防署があり、普段から消防車の写真を撮らせていただき、また触れさせていただき感謝しています。

●この大会を観て、消防の方々のひたむきさ、力強さを感じ、消防に対する信頼感が益々強くなりました。また、来場者の人数の多さに驚きました。市民のためにも、この大会は大変意義あるものだと思います。



仲田さん・高橋さん

●KAT-TUN(カトウーン)が出演しているTV番組で大会を知り、来場しました。

●競技種類が多く、そのスピード、力強さに驚きました、観ていて興奮します。

●近所に消防署があり、熱心に訓練している姿を拝見して、いつも感心しています。

●この大会の規模の大きさに驚きました。機会があれば、また、観てみたいです。消防の皆さん、これからも頑張って市民を守り続けてください。



宮崎さんご家族

●子供がSRに憧れており、駅の広告ポスターを見て来場しました。

●陸上・水上の種目があり、消防の方々の幅広い消防救助技術に驚きました。

●消防の方々は、日頃から私たちの暮らしを守ってくれていて感謝しています。

●この大会を観て、消防に対する信頼感が増しました。

●家族で楽しめて、興奮できる、この大会はとても素晴らしいです。

●大人になったら、絶対にSRになります！



財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

— 安心への選択 —

消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険 (生命保険)

消防職員医療保険 (損害保険)

消防職員傷害保険 (損害保険)

消防職員賠償責任保険 (損害保険)

(財)全国消防協会の消防団体保険は、全国15万人の消防職員の助け合いの制度です。消防職員とそこご家族の皆様のご福利厚生に是非ご利用下さい！

お問い合わせは ☎ 0120-119-147 (生命保険) ☎ 0120-065-988 (損害保険)

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

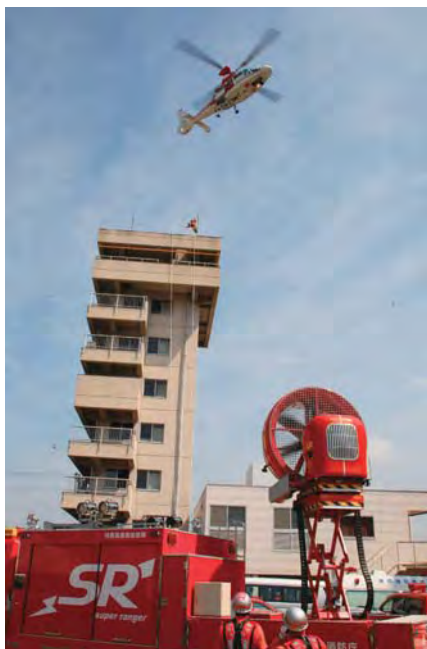
オープニング セレモニー

開会式が盛大に執り行われた後、会場中央にステージが置かれます。会場全体がざわつく中、オープニングセレモニー開始のアナウンスと同時に大型スクリーンに迫力ある映像が流れると、横浜市安全管理局の機動第一工作車、機動第二工作車、特別高度工作車三台が会場内に登場、特別高度救助隊（通称「スーパーレンジャー（SR）」）の隊員が各車両前に整列しました。司会者がステージに登壇し、特別ゲストの石黒賢さんを紹介すると、会場からワットと歓声が上がります。拍手とカメラのシャッター音の中、石黒賢さんが登場されました。今年の一月から三月まで横浜市安全管理局が全面協力して放送された、ドラマ「RESCUE 特別高度救助隊」で徳永隊長役を演じられた石黒賢さんのオレンジ服を着た姿はまさにSR隊長そのものです。

石黒賢さんのお話の後、会場に「高層建物火災第一出場、戸塚区深谷町七七番地、ビル火出火」の災害指令が響き、徳永隊長（石黒氏）の指揮によりSR隊員が出場、救助活動が開始されます。

災害想定は、高層マンション十階から出火し、要救助者数名いる模様。SR隊員は一階の閉鎖された鋼製扉をウォーターカーターを使用して開放、屋内にいる要救助者を隣接建物へブリッジ線を展張して救出し、さらに消防航空隊による隊員の進入及びホイストを使用した要救助者の収容を行ったのち、SR隊員が出火建物から緊急脱出する・・・というものです。

会場に来場された観客は、実戦ながらの現場の迫力とSR隊員の迅速な救助活動に圧倒されながらも、隊員たちの動きに見入っていました。



子どもアドベンチャー 2009

「子どもアドベンチャー2009」（横浜市及び横浜市教育委員会主催）とは、いろいろな「ホンモノ」に出会える夏休み！「お仕事探検に出かけよう！」と題して、夏休みを体験学習等の一つの機会として、市内在住、在学の小・中学生等を対象に、「子どもの『働く』ことへの実感」「学校では学ぶことができない『体験・発見』」をテーマに、8月の19、20日に市役所をはじめとする、さまざまな仕事を見学・体験できるイベントです。なお、プログラムは、全部で43用意されています。

横浜市安全管理局では、プログラムの一つとして、普段は、なかなか見ることが出来ない消防訓練センターの施設や同場所での

開催されている全国消防救助技大会を見学するイベントが開催されました。

当日は、募集人員を遥かに超える人気の中、抽選で選ばれた小・中学生の25名と保護者30名、計55名が参加しました。

【当日のスケジュール】

- 9時00分 式典等を見学。
- 9時30分 オープニングセレモニー見学。
- 10時30分 消防訓練センターの教室や寮の見学、横浜消防のマスケット「ハマくん」との楽しいひととき。
- 11時30分 消防訓練センタープールで水上の部の訓練を見学。
- 12時00分 はしご車の体験乗車。

今回「子どもアドベンチャー2009」に参加された小学生に感想を聞いてみました。

レスキュー隊になりたい人？オレンジの服を着たい人？みんな「はい」と元気に答えてくれました。「かつこよかった。」

「すくはやく泳ぐのにびつくりした。」など感想を聞かせてくれました。

最後にイベントを担当された横浜市安全管理局の谷本さんにお話を聞きました。

「未来を担う小・中学生が、この大会を見て、体感して、消防という仕事に興味を持つてもらえれば、うれしいです。この中から将来、消防士が誕生することを心待ちにしています。」と黒く日に焼けた額から流れる汗をぬぐいながら答えてくれました。

当日は、残暑がきびしい一日でしたが、よく晴れた訓練会場で元気な子どもたちの笑い声と歓声が響いていました。



消防車両展示コーナー

特別高度救助部隊（SR）8台が全隊集結！車両展示のほか、救助工作車の内部見学や救助資機材の展示も行われました。車両展示や救助工作車の内部見学には、子ども連れによる家族の長い列ができるほどの盛況でした。

目を輝かせて大きな車体を見ていた子供たち・・・将来が楽しみです。



ふれあいカードラリー

イベント会場内のだれか？が特別高度救助部隊カード（全8種類）をそれぞれ持っています。全部集めた人には、記念品がプレゼントされるカードラリーが行われました。

市民に積極的に参加してもらい、消防を身近に感じてもらうことを目的に企画されたイベントで、午前中にはすべてのカードがなくなるほどの盛況でした。参加した子どもたちは、カードを集める楽しさと、消防隊員とのふれあいに満足した表情でした。



写真撮影コーナー

TBSドラマ「RESCUE特別高度救助隊」の撮影で使った防火服や子ども用救助服を着て救助隊員となり写真撮影を行うコーナーで、青空の中小さなレスキュー隊員がポーズをとっていました。

防火服を着た小学生に感想を聞くと、「重い」「熱い」の一言でした。消防隊員は、大変なのよ・・・。



交通安全体験コーナー

神奈川県警察本部の「安全運転教育・ゆとり号」で安全運転のシミュレーション体験を実施しました。

この「安全運転教育・ゆとり号」は国内最新型で、車内に2台のドライビングシュミレーターがあり、ほぼ毎日、色々な催し会場で活躍しています。担当者は、シミュレーション中にわざと話しかけて、普段と同じ状況を演出します。

横浜市内から参加した女性は、「2回も事故を起こしてしまって、まだ動揺しています！」と興奮状態で出てきました。「運転中に注意しなければならないことが、改めてわかりました。今日から気を付けます。」と運転結果表を見ながら自分に言い聞かせていました。



ファイアー1との握手会

テレビ愛知発、テレビ東京系ほかで現在放映中の「トミカヒーローレスキューファイアー」からファイアー1が会場に来てくれました。テレビの中のヒーローと実際に握手ができるとあって、子どもたちは大はしゃぎ、いや、親たちの方が大はしゃぎでした。



消防体験コーナー

消防車からの放水体験、はしご車の搭乗体験が、イベントエリア2で行われました。

はしご車の搭乗体験は希望者が殺到し、抽選で100人が体験しました。横浜市内から来た小学校4年生のユウタ君は、はしご車に乗りたくて、3回目の抽選でやっとあたり、嬉しそうに順番を待っていました。しかし、順番近づくと不安そうな顔に・・・。

放水体験に参加した小学生の兄弟は、「楽しかった。でも重かった！」と反対に引っ張られる力に耐えていました。当日は天候が良かったため日陰をつくり、参加した子供達に飲み物を配る等、熱中症対策が取られていました。



大会ダイジェスト



第38号 平成21年9月25日発行

編集発行 (財)全国消防協会 〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2
 (アーバンネット麹町ビル) 電話 03(3234)1321(代)